

知覧飛行場跡の飛行場用地で確認された 表採遺物について

上田 耕

1. 経緯

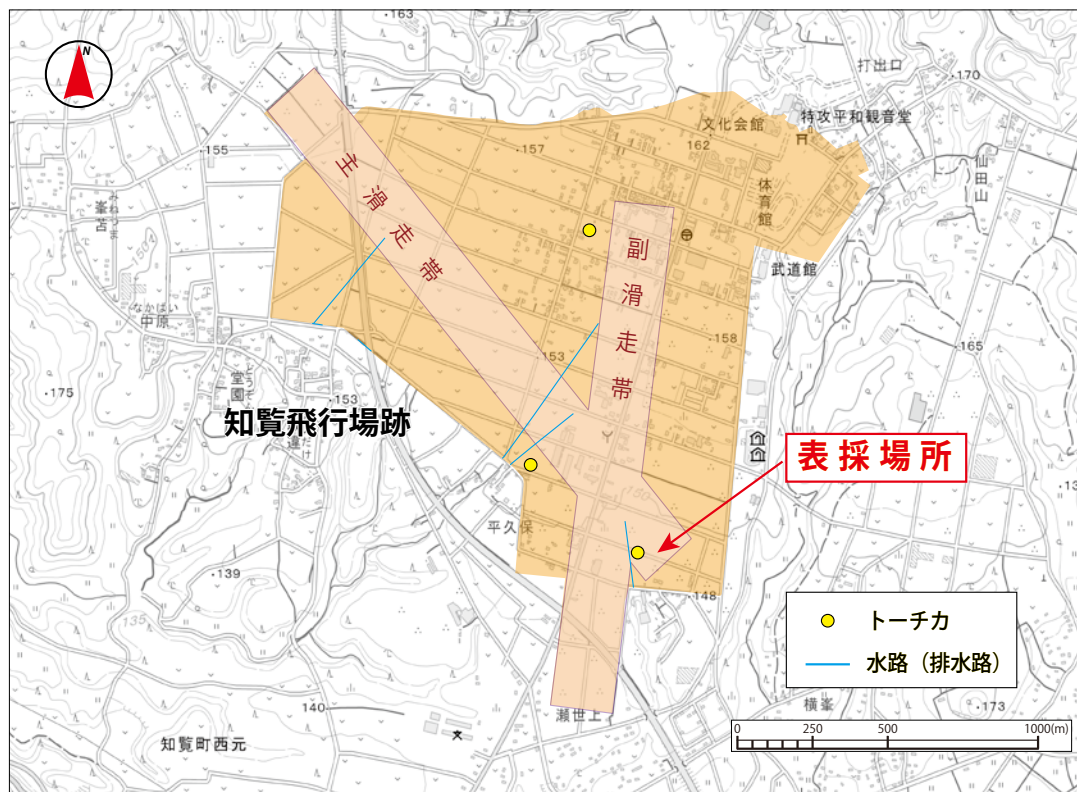
2009（平成21）年、知覧飛行場跡の飛行場用地（滑走地区）が周知の埋蔵文化財包蔵地となった。これ以降、知覧飛行場跡の考古学的な調査が本格化し、2014（平成26）年度には南九州市教育委員会が、翌2015（平成27）年度には鹿児島県立埋蔵文化財センターが南薩縦貫道知覧道路の建設に伴い発掘調査を行った。その結果、硬化した地盤や造成土、コンクリート製の水路（排水路）や溜枡、土側溝、誘導路の溝跡などの土木工事の跡が確認された。

このように、現在多くが農地となっている飛行場跡の地中には、当時の施設や構造物の一部や破片等が残っており、中には耕作の過程で地表面に出てきてしまうことがある。

今回、飛行場用地南東側の畑の土地所有者から、コンクリート片やレンガがあるとの情報が寄せられたため現地を確認し、お話をうかがったところ、飛行場構造物に関する遺物であることが分かった。これらは、所有者のご厚意によりミュージアム知覧に寄贈していただくことになったため、ここに紹介したい。

2. 確認された表採遺物について

採集された場所は、知覧飛行場の主滑走帯（拡張工事後）の南東側の端にあたる（第1図）。1945（昭和20）年7月に米軍が撮影した航空写真には、すぐ近くにトーチカと水路（排水路）が写っている（第2図）ことから、戦後に解体されたり埋められたものの一部である可能性が高い。



第1図 位置図



第2図 米軍撮影の航空写真（昭和20年7月撮影）

寄贈いただいたものは、コンクリートや多数の石片、レンガ、土管の破片などである。これらのいずれにもモルタルが付着しているものがあった。

コンクリート片（写真2）については、先述した南薩縦貫道知覧道路の建設に伴う発掘調査で見つかった水路（排水路）とコンクリートの形状や材料もよく似ている（写真3）。現在、知覧飛行場にはトーチカは残っていないが、南九州市颯娃町上別府の旧陸軍青戸飛行場跡に2基が現存している。今回表採された石と同じような石が用いられたり、モルタルが付着していることから、トーチカもしくは水路の一部であった可能性がある（写真4・5）。

レンガ（写真7）は、知覧飛行場跡では、油脂庫などの建物に利用されている例があり、当時の建築資材としてよく使用された。おそらくトーチカで使用されたレンガであると思われる。

土管の破片（写真8）はこれまでの発掘調査で出土した例はないが、似たような土管が打出口集落内の教育隊関係施設跡に残っており、その関係性が注目される。

3. トーチカについての証言

1943（昭和18）年末から知覧飛行場は戦況の悪化に伴い、実戦部隊が駐留するための拡張工事が始まった。1944（昭和19）年夏からは掩体壕や誘導路、三角兵舎の建設が行われた。このときにトーチカも建設されたと考えられ、米軍撮影の航空写真には3基トーチカが写っている。

知覧飛行場のトーチカについては、元知覧町役場職員で知覧特攻平和会館の語り部でもあった松元淳郎氏（昭和3年生まれ）に2015（平成27）年8月27日に聞き取りを行っていた。

その内容を記すと、「トーチカのコンクリートの厚さは、1 m弱（親指と人差し指を伸ばして測って7回分ほど）で、外壁は白く塗られていて、上部は芝が植わっていた。建物は半地下式で内部中央には銃を載せる台があった。おそらく飛行場拡張工事に造られたものであろうと思われる。戦後は、爆破するということで、250kg爆弾で爆破したところ4～5 mほどの穴があいた。爆破で周囲200～300mほど飛び散った破片は、日当5円くらい出すからと集められて、回収した。回収した破片は道路のくぼ地などに入れた。レン



写真1 採集された知覧飛行場跡の現地と遺物状況



写真2 表採されたコンクリート



写真3 発掘調査で出土した水路（排水路）跡のコンクリート



写真4 表採された石片



写真5 青戸飛行場跡トーチカ



写真6 青戸飛行場跡のトーチカ



写真7 表採されたレンガの破片



写真8 表採された土管の破片

がはなかったと記憶しているが、玉石はたくさんあった。」ということである。

以上のように、表採された遺物は、聞き取り内容と現地状況とをあわせると、戦後に爆破されたトーチカや、使用されなくなった水路（排水路）の建設材である可能性が高く、その後の耕作や圃場整備等による整地や造成の際に周辺に散布したものとおもわれる。

おわりに

南九州市内には旧陸軍知覧飛行場（ちのひ）と、先述したように頴娃町上別府に同じく旧陸軍の青戸飛行場（まのひ）があった。

青戸飛行場は、知覧飛行場が手狭になった1944（昭和19）年に建設がはじまったが、戦局の悪化に伴い米軍の攻撃を受けて完成しないまま終戦を迎え、開港することはなかった。この飛行場は軍による本格的なもので、周辺には今でもトーチカや防火水槽、三角兵舎、掩体壕などが埋もれないで良好に残ってい

る。これら現存するコンクリート構築物の構造や滑走路（帯）との位置関係などを把握することで、今は現存しない知覧飛行場のトーチカ遺構の解明にも役立つものと考ええる。

今後、これらの遺構と戦争をしらない世代の教訓にもなり、今後の平和教育など大いに活用できる文化財である。これらと照らし合わせ、戦争の記憶が引き継がれていくことを期待したい。

【参考文献】

- 上田耕・坂元恒太編（2015）『南九州市埋蔵文化財発掘調査報告書（6） 知覧飛行場跡―三角兵舎・掩体壕・滑走路跡―』 南九州市教育委員会
- 上田耕・大山勇作編（2016）『南九州市埋蔵文化財発掘調査報告書（7） 知覧飛行場跡（二）』 南九州市教育委員会
- 上田 耕（2020）「戦争遺跡－飛行場と関連遺跡の調査から－」『鹿児島考古』第5号 鹿児島県考古学会
- 福永修一・有馬孝一編（2017）『鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（190） 知覧飛行場跡』

（うえだ・こう 南九州市文化財課主査（学芸員））

【要約】

旧陸軍知覧飛行場跡の一角畑地から、レンガやコンクリートの破片などが散布しているところがあり、ミュージアム知覧が土地の所有者から戦跡遺物として寄贈をうけた。

本稿では、まず、遺物が拾われた畑が当時の飛行場のどの場所に位置するのかを、1945（昭和20）年7月の米軍撮影の航空写真から特定し、併せて当時を知る証言者からの聞き取り内容から、遺物がどのような施設に関わるものかを探る。次に、知覧飛行場跡や近接する青戸飛行場跡（まのひ）のコンクリート製のトーチカなど現存する遺構の構造と材質などを調査することによって、採集遺物はどのような施設であったのかを推察する。

その結果、表採された遺物は、戦後に爆破されたトーチカや、使用されなくなった水路（排水路）の建設材であり、その後に行われた耕作や圃場整備等で整地・造成によって周辺に広がった可能性を指摘している。

<Summary>

Confirmed surface relics found at the Chiran Airfield site

Brick and concrete fragments were found scattered in one corner of a field at the former Chiran Airfield site of the Imperial Japanese Army.

These battle relics were donated to the Museum Chiran by the landowner.

In this paper, we identify the location of the field where the relics were found by using aerial photographs of the airfield taken by the U.S. military in July 1945 and the facilities to which these relics were associated through the contents of interviews with witnesses who lived during that period. We also used existing structures and materials such as those found at the Chiran Airfield site and the concrete pillbox of the nearby Aoto Airfield site (Manohi) to infer the facilities to which these relics belonged.

Our results show that the surface collected relics are from pillboxes that were blown up after the war and from construction materials used for drainage channels that are no longer in use, which were probably then dispersed into the surrounding area by subsequent land cultivation and general field maintenance.

